

| | | | | | | |
|----|-----|----|----|----|---|----|
| 市長 | 副市長 | 局長 | 次長 | 係長 | 係 | 記録 |
| | | | | | | |

【所属名：ガス水道局】

【会議名：糸魚川浄化センター環境保全会議】

開示

一部開示

(理由:条例第 条第 号 該当)

不開示

時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 令和元年 7 月 1 日

| 日 | 令和元年 6 月 4 日 | 時間 | 13 : 25 ~ 15 : 10 | 場所 | 糸魚川浄化センター 2 階会議室 |
|-----|--|----|-------------------|-----|------------------|
| 件名 | 協議事項 (公開) | | | | |
| | 議事 (1) 報告事項 ① 浄化センター及び公共用水域水質調査等について ② 臭気調査について ③ ホタル育成について ④ 修繕工事について ⑤ 水洗化率について (2) その他 | | | | |
| 出席者 | 【出席者】 13 人 金子会長、穂苅副会長、比護委員、吉岡委員、水島委員、小林委員、猪又委員、伊藤委員、青木委員、樋口委員、楠田委員、木嶋委員、吉田委員 【事務局】 6 人 樋口局長、谷口次長、中村係長、山岸主査、五十嵐主査、林主査 【同席】 3 人 糸魚川二幸 齊藤担当部長、齊藤業務部長、石橋浄化センター統括 | | | | |
| | 傍聴者定員 | 無 | 傍聴者数 | 0 人 | |

会議要旨

- 開会 (13 : 25) 進行 中村係長
- 委嘱状の交付
- あいさつ 樋口局長
- 環境保全会議の役割について (説明 : 事務局)
- 協議事項
環境保全会議会長・副会長の選出について
会長に金子榮一委員、副会長に穂苅晃委員を選出
- 議 事
① 浄化センター及び公共用水域水質調査等について (説明 : 事務局)

【質疑・意見】

(委 員) 検査はどこでやっているのか。

(事務局) 採取したものを浄化センターへ持ち込んで糸魚川二幸から検査してもらっている。

② 臭気調査について (説明: 青木パトロール員)

8箇所調査している。竹ヶ花川放流口は、ほぼ毎回臭いがする。

H30.10調査では、色々な箇所から臭いがしたが、工事のために開放していた影響であった。臭いは主観的な部分が出やすいため、2人の委員で相談して結論を出している。

臭いの種類はどの箇所も皆同じような臭いであった。

(以後、事務局説明)

【質疑・意見】

(委員) 上越環境科学センターでやっているのはなぜか、臭気調査のように浄化センターでできないのか。

(事務局) 分析する機械が必要なため上越環境科学センターに依頼している。

(委員) 臭いが出るという報告はいいが、どうにもならないのか。はっきり言えばやってもらいたいと言いたいところである。身体には害がないのか。

(事務局) 悪臭防止法で規制されている物質は規準をクリアしている。臭いの原因となる物質は、色々な所から情報をもらって調査して結果を示している。2-メチルイソボルネオールという、墨汁のような臭いが原因ではないかと考えているが、現状では対策が難しい。

(委員) 臭気調査で感じる臭いは身体に害がないのか。

(事務局) 害はないと考えている。

(委員) もっとインパクトをもって説明してもらいたい。せっかく調査をしても身体に害がないということでは張り合いがない。

(事務局) 処理することによって出てくる臭いであり、開放されている場所では拡散してあまり臭わないが、処理水の臭いを嗅ぐと臭いがする。

(委員) 以前悪臭がした場所があるが、調査対象には入っていないが調査はしてきた。臭いはそれ以降したことがない。

(事務局) 生の下水が出たことがあった。ゲートのある所であるが、隙間ができていた。隙間は塞いで対応してあるが、生の臭いがあればすぐに連絡をもらいたい。

(会長) 今のところ区民からの苦情の連絡はない。

③ ホタル育成について 説明 事務局

吉田委員の補足説明

処理水の中でもホタルが生息できることは以前に確認できた。ホタル舎は人工的に管理されてきた環境である。完全に手を抜くことはホタルにとって良くない。水路が泥に埋まってきているのも何とかしてもらいたい。カワニナの数が増減してきている。お金よりも目をかける方が大事だと考えている。

【質疑・意見】

(委員) ホタルの生育は以前の会議でも継続としてきた。何のためのホタル育成かというところを外れないでいただきたい。なぜここで育成するのか整理してもらって示してほしい。

(委員) 地元の人が楽しめるくらいの数は飛んでももらいたい。

(事務局) 処理水の中でも生育できるという点の一つある。お金をかけてまでホタルを育成する

という考えはもっていない。

(会 長) エサのキャベツ等は不足していないのか。

(吉 田) その辺の不足はない。問題は溶存酸素である。水温の影響もあるが、今のところホテルが適応できているようだ。

④修繕工事について 説明 事務局

【質疑・意見】

特になし。

⑤水洗化率について 説明 事務局

【質疑・意見】

(委 員) 経済的な理由で接続できないというのはわかるが、周りへの迷惑という部分もある。資金的な援助というのではないのか。

(事務局) 局で所管している中では、排水設備への低利の融資制度はある。介護等に対する補助制度はあるが本来の趣旨が異なる。そういった話があれば局へ相談してもらいたい。

(2) その他

(委 員) 汚泥槽の西側や蓮池の辺りの草がぼうぼうになっている。景観上いかがなものか。

(事務局) 蓮池は高さの関係で水路の水が入らなくなった。水が入るように算段したい。草刈はシルバー人材センターに頼んで順々に回ってもらっているが手が足りていないようである。早く刈ってもらえるようお願いする。

(委 員) 防災対策について伺いたい。海川が溢水した時の対応が考えられた施設なのか。整理してもらって、国や県とも相談して意見を聞かせてもらいたい。

(事務局) 持ち帰って検討させてもらいたい。

(委 員) 臭いの原因と考えられている物質について数値に動きがある。比較できるようにお願いしたい。

(事務局) 次回の資料からはそうさせてもらいたい。

(事務局) 前回の宿題として耐震化の状況を報告することになっていた。管は46.9%が耐震化済みであり、うち重要路線は93.9%となっている。全国では50%くらいなのでかなり進んでいる方である。処理場は上屋については耐震化済みであるが、地下部分は未対策である。地下に埋まっているものなので施設の更新等と併せないと難しい。

(会 長) 次回の開催時期はいつか。

(事務局) 11月を予定している。